

自己評価及び学校関係者評価書（令和4年度）

作成年月日 令和5年 2月15日
 学 校 名 附属特別支援学校

1. 本年度の経営の重点目標

- (1)各学部・分掌等を有機的に機能させる、報告・連絡・相談を重視した校内組織の運営推進。
 (2)教職員のさらなる資質・能力向上（附属学校教員としての使命と責任）。
 (3)教職員全体の「授業力向上」や教員相互が研鑽し合う環境（体制）づくり。
 (4)共生社会の実現を目指し、地域の障がい理解に向け、教育を通して地域と連携を推進する。
 (5)本校の存在意義を明確にするために、研究と地域貢献を両輪に、大学、他校や教育行政、地域と連携した着実な実践や実績を積み上げていく。

2. 本年度の指導の重点目標

- (1)地域の特色や実態を把握し、児童生徒が地域で生きるために必要な資質・能力を育てる。
 (2)知的障がい・自閉症教育における「学びの支援」を重視した実践を行う。
 (3)社会参加を目指した実践的な教育を推進する。
 （知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力の育成）
 (4)人や社会とかかわり合う力を育成する。
 （学びに向かう力、人間性等の涵養）
 (5)家庭・地域の教育力を支援する教育活動を展開する。
 (6)多様な学び方（ICT等）での授業実践を行う。

3. 自己評価結果 【達成状況】A：十分である，B：概ね十分である，C：不十分である

分野	評価項目	自 己 評 価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
学校経営 （園経営）	学校教育目標の具現化と達成に向けた取り組み	B	教職員、保護者ともに目標の理解はおおむねできており、各学部の教育の中で、具体的な実践を進めた。次年度は、重点目標、教育方針及び経営計画を再整理し、目標の具現化と達成に向けて取り組む。	A	A
	入学選考（定員充足）の取組	A	教育活動・研究の発信を積極的に進めていく。選考基準について、次年度も継続して検討する。	A	A
	業務の精選・効率化	A	ICTを活用した情報交流を進め、会議時間を短縮した。次年度は、会議の削減、分掌と委員会構成を見直し、業務の重複を解消する。	A	A

学校関係者評価者意見		<ul style="list-style-type: none"> ・教職員からは目標が多いという意見もある。単年度で行うことができることは限られている。実践だけではなく研究も附属としての特色。例えば、地域を学ぼうとか、コロナの問題とか。あまり多いと大変だから、絞って行ってはどうか。 ・先生方が意見をぶつけ合っている学校にしていてもらいたい。 ・評価を受けて改善していくのが大切。保護者の意見もとてもいい意見がたくさんある。附属の活動が保護者におおむね理解していただいていると感じる。 ・どうしたら業務を削減したり精査したりできるのか、考えていくのが大切。 ・コロナ禍になって、なくてもよかったというものもあったと思う。思い切って変えていくことも必要ではないか。 ・学校評価について、職員の方々の正直な意見が反映されたのではないかと感じた。働き方改革、時代の変化、職員の年齢層等も含めて、管理職等が職員を理解するという視点も必要になってくるのではないかと感じた。 ・良い取組を目指せば、どんどん業務は増えていく。その中で何を目標にするか、考える。時代が変わってもなくしてはいけないものもある。それを職員の中で共通理解しながら進めていってほしい。 			
教育課程	小中一貫教育課程に関する取組	A	児童生徒の事例検討や研究実践を通して、各学部の教育課程のつながりを共有した。次年度の教育課程編成を通して、さらに小・中・高の一貫性を職員間で共通理解する。	A	A
	「地域で生きる」を目指した教育課程の編成と改善	A	コロナ禍であっても、感染症対策を徹底しながら、地域資源を利用した教育活動を推進できた。次年度は、さらに、資質・能力の育成を目指し、活動のねらいを明確しながら取り組む。	A	A
	知的障がい教育における最適な教育課程の編成と改善	A	カリキュラム・マネジメントの中で明らかになった時間割、授業時数等の課題について整理した。次年度も、教育課程の編成・実施改善を進める。	A	A
学校関係者評価者意見		<ul style="list-style-type: none"> ・昨年は水遊びを行った。水に親しむ中での学習は特色があると感じた（小）。 ・ゴミ拾いについて、おかげさまでこの地域がクリーンになった（中）。 ・五感日記について、エピソードを発表して来校者に評価していただいた（高）。 ・改善点について、前向きな答えが多かったと感じた。児童生徒のほうを向いて教育していると感じた。 ・各学部とも外での活動が多くなった。子どもたちにとって 			

		も良かったのではないかと感じる。実体験が少なくなってきたので、よかった。			
学保育指導)	個別の教育支援計画及び個別の指導計画に基づく、学びの支援の充実	A	保護者と共通理解を図りながら保護者の願い、児童生徒の願いを汲み取りながら、個別の教育支援計画の目標を策定するとともに、個別の指導計画の中で具体的な目標を設定し、実践していく。	A	A
	一人一人にあった学び方を重視した学習活動の充実	A	一人一人に応じた多様な学び方を工夫しながら学習活動を進めた。特に、単元や題材などの内容や時間のまとまりにおける評価の在り方を検討し、目標の妥当性と手立の充実につなげていく。	A	A
	確かなアセスメントに基づいた個に応じた指導・支援の充実	B	職員の主体的な研修意欲と専門性の向上を図るために研修機会を保障する。	A	A
学校関係者評価者意見		<ul style="list-style-type: none"> ICTについて、慣れていない人もいると感じる。コロナ禍で一定の利活用について成果が得られたと思う。今後、研修等が必要ではないかと感じる。ICTをうまく使い、先生方が子どもたちと向き合う時間を確保してほしい。 			
児(童園・児生指導)	いじめ、体罰防止等にかかわる指導・支援の充実	A	職員間で徹底したいじめ、体罰防止にかかわる研修を行い、いじめや体罰のない学校を継続する。	A	A
	児童生徒の実態把握に基づく指導情報の共有と配慮した指導	A	学部内のケース会議と校内支援委員会との連携を密にし、適切な指導・支援を検討、実践する。	A	A
	家庭、地域と連携した指導・支援の充実	A	学校、保護者、地域(医者・相談支援事業所)等との連携を図り、役割分担と継続的な支援の方法を検討し、実践する。	A	A
学校関係者評価者意見		<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策の関係で、参観日はどのように行っていたのか。その間の保護者とのかわりについてどうしていたのか。また、今後どのような形にしていくのがいいのか。実際の子どもが活動しているところを見るのは保護者にとって安心感や信頼感に繋がっていくのではないかと感じる。 来年度以降の新型コロナウイルス感染症対策に伴う行動規制緩和について、これまで制限していたところを戻していきながら、最終的には将来の生活に繋がるような地域の方 			

			との交流等の活動を行ってほしい。 ・保護者評価の中で、教師とのコミュニケーションについては苦勞していると感じる。参観日の話もあったが、保護者は学校での姿を見て安心する。コロナ禍で3年間過ごした子どもや保護者が、次の段階に進む。その不安も少なからずあると感じる。学校からも情報提供して、保護者とコミュニケーションをとりながら進めていくのが大事ではないかと思う。		
健康 安全	各科検診及び学校保健指導の充実	A	養護教諭を中心に、担任及び保護者と連携、協力し、計画的に進めていく。	A	A
	健康・安全に関する指導・支援及び管理の充実	A	感染予防マニュアルや学校安全計画、危機管理マニュアルの点検や見直し、改訂を行う。 四校園、保護者と連携した災害時の対応訓練等を実施する。	A	A
	保健室経営の工夫と相談機能の充実	A	児童生徒の様々なサインを丁寧に見取り、情報交流のもと、指導支援に生かす。	A	A
学校関係者評価者意見		・特になし			
教育 環境	児童生徒の学習環境の整備	A	児童生徒が安全・安心な環境の中で主体的に学ぶことができるよう、教室整備を行う。	A	A
	I C T環境の改善	B	児童生徒、教職員が活用しやすいI C T環境の整備を進める。（職員研修、家庭との連携）	A	A
	図書室の整備と活用	B	児童生徒、教職員、保護者が活用しやすい図書館整備を進める。	A	A
学校関係者評価者意見		・学校だよりで「笑顔」を強調していた。とても感銘を受けた。それを基本としてやっていただけのものは大切。			
大学 との 連携	大学の中期目標・中期計画における本校が果たすべき役割の実現	A	先進的な研究課題の検討を進め、発信する。	A	A
	大学との共同研究や教育委員会との連携事業の推進	A	函館校のみならず、他キャンパスとも連携を図り、様々な共同研究等に取り組む。連携事業を推進する。	A	A
	教育実習等における教員養成、研修の充実	A	大学及び教職員大学と連携し、教育実習の充実を図る。	A	A

学校関係者評価者意見		<ul style="list-style-type: none"> ・ 附属として大変なことは、実践と研究、これを大きく抱えている。先進的な研究をして、周りに発信していく。そうすると、附属としての責務が高まってくるのではないか。 			
その他					
学校関係者評価者意見					